

平成 24 年度 第 3 回
第 5 期 新南陽地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成 24 年 12 月 12 日（水）

場 所：新南陽総合支所 4 階 41 会議室

平成 24 年度 第 3 回 第 5 期新南陽地区地域審議会

会議次第

日時：12月12日（水） 10：00～

場所：周南市新南陽総合支所 4 階会議室

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

4. 議事

新市建設計画の進ちよく状況に対する答申について

5. その他

6. 閉会

平成24年度 第3回 第5期新南陽地区地域審議会 会議録

日時 平成24年12月12日(水) 10時00分～
場所 新南陽総合支所4階41会議室
出席者 委員11名(欠席4名)
中村利孝、宮本 進、原田常代、山本邦子、岡田昭彦、久村貴美子、
宮崎 進、渡部美紀恵、伊藤禎亮、吉鶴 猛、山本正之
事務局4名
三浦新南陽総合支所長、中村次長兼地域政策課長、川崎課長補佐、中村係長
資料 ・(案)新市建設計画の進捗状況について(答申)

会議議事録

1 開会

2 市民憲章唱和

3 議事(要約)

●会長

おはようございます。冷え込みの厳しい中、またそれぞれお忙しい中、審議会にご出席いただき、ありがとうございました。

できれば、今日、答申をまとめるという事で進めさせていただこうと思います。

それはさておきまして、答申書のまとめを皆さんにお願いをしております段階におきまして、10月30日、突然、市から公共施設再配置計画(案)が出されました。これについては、ご承知のように、マスコミ等の報道が独り歩きしたような状況の中で、わたしも色々な苦情、不平を聞いております。

そして、急きよではございますが、12月5日に新南陽地区出身の市議会議員からの呼びかけにより、市民にとって大きな問題であるということから、お互いが意見を交換する場を持ちました。

昨日の議会で中継を見ておりましたが、このことについて、一般質問もされておられましたことについて心強く思っております。

新市建設計画期間終了後のまちづくりにつきましては、われわれの任期が終わりますので、市議会にも協力を得ていかなければならないと思いますので、答申がまとまった後に、議員とも話し合う機会がもてたらと考えております。

さて、正副会長並びにワーキンググループの各班長が、勉強会での皆様の意見をまとめて答申書案を作りましたので、本日、それを提示しながら、改めて皆様のご意見を聞き、答申をするための準備に入りたいと思います。

これにつきまして、本来、会長として皆さんにご提示すべきですけれども、事務局が読み上げまして、その後、ご意見や質問を正副会長なり、各班長が答えさせていただくことで進めたいと思います。

それでは事務局から説明してください。

●事務局

それでは、答申案を読み上げさせていただく形で進めていきます。

まず、答申と上部に書かれた最初のページを読ませていただきたいと思います。

(「前文」読み上げ)

●会長

何かございますか。

●全員

特になし

●会長

また後程、全体的に見て、意見があれば出してもらったらと思います。

それでは、次の進捗状況についてお願いします。

●事務局

(「新市建設計画の進捗状況について」読み上げ)

●会長

ありがとうございました。

必要性が高いものと低いものを区別して、明確にした方がいいのではないかということで、羽島住宅建替事業と福川漁港関連施設整備については、現状を見れば非常に難しいと判断したところです。また、補助金など関係省庁も絡んでいるので、研究・検討という表現も使っております。

富田西地区のコミュニティセンター整備事業でございますけれども、用地取得は早く行いましたが、区画整理事業との関係もあり未実施となっております。これについては、早く結論を出してもらいたいというようなニュアンスで書いております。

ご意見がありましたらお願いいたします。

ないようでしたら、次に進めさせていただきたいと思います。

●事務局

それでは、計画期間終了後のまちづくりの方向性について、ハード事業とソフト事業に分けておりますので、まずハード事業の総論と富田地区まで読み上げさせていただきます。

(「ハード事業の総論と富田地区」読み上げ)

●会長

ご意見、ご提言がございましたら、お願いいたします。

●委員

都市計画道路「中溝線」の事業着手のところの「西部区画整理事業」は正式名称を入れてください。

次のページの、都市計画道路「川崎～平野線（桶川～富田川右岸間）」の事業着手のことで、「富田東小学校の通学路の拡幅整備」のところで、あの通学路は非常に危険なのですよね。それを明記した方がいいと思う。

最後に、永源山公園の東エントランスについてですが、政所・川崎地区からの取り付け道との部分で、「取り付け道」でもあるけれども「避難通路」という表現の方がいいのではなかろうかと思います。

●会長

他にございますか。

●委員

川崎平野線が富田川の土手まで出来たら通学が安全になるよね。川崎地域のほうもね。今は旧道で狭く曲がっているから。

●会長

朝晩は、政所・川崎の旧道を抜け道にする車が多いですよね。他にございませんか。それでは次をお願いします。

●事務局

それでは、福川地区を読ませていただきます。

(「福川地区」読み上げ)

●会長

辰尾公園の整備で、「市営住宅跡地を駐車場として確保し」とありますが、道が狭いのと駐車場がないということで記述しておりますので、ご理解をいただけたらと思います。

●委員

書き出しの部分に追加をしたいことがありますので、提案をさせていただきます。福川地域の鉄道以北については、福川本陣などを中心に栄えてきた歴史があり、旧山陽道沿いに家が密集し、それゆえにまちづくりが遅れてきた。今回、辰尾公園を中心にした面的整備を行いたいということ、強く出したらいいのではないかと思います。

次の、市計画道路寿町～西町線の一部と上迫線の一部の整備および辰尾公園の整備とありますが、辰尾公園の整備に関連する都市計画道路の整備の方が一般的にわかりやすいと思う。

●会長

他にご意見はありませんか。次の和田地区をお願いします。

●事務局

(「和田地区」読み上げ)

●会長

補足があれば、委員お願いいたします。

●委員

答申書案の内容でほぼいいとは思いますが、交通弱者の問題と、老朽化した橋の問題も入れていただけたらと思います。

●会長

ありがとうございます。関連しまして皆さんからご意見があったらいただきたいのですが。

●委員

市道管理はしっかりしなければいけない。

●委員

地域には地域の実情もあるし、地域には地域の管理の仕方もある。協働するまちづくりが、周南市になって無くなったのが、こういう案件だと思う。

自分たちのまちは自分たちできれいにしようという市民一日清掃という取り組みが、合

併と同時になくなった。地域に実情に合った道路などの管理システムを作ることが、地域のコミュニティも含めて大きな施策だと思う。

●委員

富田川の清掃も、10年前は地域全員で行っていた。最近では、参加しないと罰金を払うようにしても、参加する人は少ない。今はボランティアが難しい時代になっている。若者にとって、ボランティアで何かするというのは、大きな災害があった時とかは別として、地域の草刈りなどをすることは、難しいのではないのでしょうか。

●事務局

確かに、これまでも若くて忙しい人が参加をしてきた。協働という事を念頭に置いて、ボランティアをしている市民を市が後押しするような仕組みづくりを考えて行かなければいけないという思いはあります。

●会長

この件は、計画期間終了後のまちづくりの方向性に関することですので、会長、副会長と担当委員の方と話しまして、何らかの形で残さなければいけないと思います。

●会長

それでは、計画期間終了後のまちづくりの方向性について、ソフト事業の説明をお願いします。

●事務局

それでは、ソフト事業につきまして読み上げさせていただきます。少し長いので、途中で一区切り入れたいと思います。

(「ソフト事業 総論～学校図書館および司書の充実について」読み上げ)

●会長

ソフト事業の総論を含めて5項目につきまして、これについてご意見がございましたらお願いいたします。

●委員

総合支所長の権限とあるが、和田支所長も同じように入れるわけにはいきませんか。規模は違いますけれども。

●委員

図書館についてですが、公共施設再配置計画（案）では、福川図書館が廃止になると聞いているが、最初は市民からの寄付でできた由緒ある図書館なので、ぜひ残してほしいということを要望したいと思います。

●会長

以前、事業仕分けの際に、学識経験者が新南陽図書館と福川図書館の距離が約4キロメートルという事で、近いからいらぬという意見が出た。地域の特殊性、これまでの経緯などを考慮せず、机の上だけで考えられた意見のように思え疑問がある。

●委員

経緯を知らない人が決めたことです。福川図書館は特別な図書館だから必ず残してほしい。図書館の利用者も結構います。

●会長

委員さんのご心配も分かります。図書館がなくなることについてのフォローをどうするかということも明確に出ていないのです。ただ漠然となくなるというのでは、市民としては許せないと思います。

それを答申書に表現するか、別の方法で、これは絶対に必要ですよというのをどこかで示すことを考えなければいけないと思うのですけれども。

●事務局

今、この計画案に対する市民の皆様方からご意見をいただくパブリックコメントを募集しています。これに、意見や思い書いて市に提出するという方法もあろうかと思えます。

●会長

先ほど、総合支所の在り方というところに、和田支所もという話も出ているのですけれども、ここで結論は出せませんが、何か情報等があれば参考にして、時間をいただいて判断したいと思います。

それでは、次に進めてください。

●事務局

（「街区公園の活用について～最後まで」読み上げ）

●会長

この2つにつきまして、ご意見がありましたらお願いいたします。

●委員

福川の民俗資料展示室は、移転してもいいですが、地域に残してほしい。福川地区の昔からの歴史が展示してあるけれど、場所が悪いから見る人が少ない。これをいい場所に移したら、もっと人が見てくれるのではないかと思います。

●会長

それぞれの施設につきましては、旧新南陽市時代に先輩が、それぞれの地域の個性を後世に残すために必要であるからこそ作ったのです。そんな大切なものを簡単に廃止では、絶対に不満はありますし、やってはいけないことだと思います。

それをいかに反映させていくかですけれど、それについては、今のやり方については不満があるということは、付け添えなければと考えております。

今日で意見交換は終了し、再度、正副会長並びにワーキングのハード及びソフトの各班長が最終のまとめをしていきたいと思っております。

提出する前に最後の地域審議会を開催して、皆さんにご確認いただこうと思っておりますがいかがでしょうか。

●委員

会長さん副会長さんなどで、まとめられたのでいいのではないのでしょうか、最終的に提出されるものをわれわれにもお知らせいただいたら、改めて集まることもないと思っております。

●会長

皆さんもよろしいですか。それでは、正副会長と班長である委員によろしくお願ひしたいと思います。

それと、(仮称)周南市公共施設再配置計画(案)の中で、新南陽総合支所廃止などが発表され、新南陽地域の市民は大きな驚き受けました。この再配置計画については、ぜひ慎重に取り組んでいただきたいという事を、わたしがこの答申書を提出する際に、市長にお願ひ申し上げたいと思っております。いかがでしょうか。

●委員

異議なし。

●会長

とにかく、この地域審議会がなくなった後は、われわれが審議した結果を今後反映することについて、市議会にもお願ひしたいと思っております。

どのようなやり方がいいかは、正副会長で相談しますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、新南陽地区地域審議会は今日で終了という事でよろしいでしょうか。

●委員

異議なし。

●会長

それでは、その他で何かございますか。

これで閉会いたしますけれども、事務局からお願いします。

■総合支所長お礼

10年間という地域審議会設置期間が今年度で最後という中で、本日をもって地域審議会も終了となり、各委員さんにはご苦勞いただきまして、本当にありがとうございました。

周南市という合併を選択しまして今日に至っております。そういった中で、公共施設再配置計画（案）を含めて、わたくしの所に寄せられるご意見も、合併して何もいいことがなかった、というような苦言も何度かお聞きしたことがございます。

地域が右肩上がりの状態から、経済情勢も、市の財政状況も含めて、非常に厳しい状況になっていると思います。

それを次の世代に繋いでいくためには、今後、非常に厳しい選択も必要になるかもしれないということは、重々私も思っているところでございます。

今後、新しい周南市を作り上げ行くためには、やはり、皆様方のエネルギー、パワーが必要だと思っております。各地域の色々なところでご活躍いただいている皆さま方でございますので、今後ともご協力をよろしくお願いします。

本当に、いろいろとありがとうございました。

■会長あいさつ

この10年間、地域審議会ではいろいろな委員さんが審議を進めてこられました。

どうか今後とも、いろいろな側面から、新しいまちづくりのために、新南陽地区のまちづくりのために、わたしも努力していきたいと思っておりますし、皆さんも協力していただけたらと考えております。

長い間ありがとうございました。これで終了いたします。

9 閉 会